

雪景色の丹波へようこそ 9人の留学生が来丹

1月27日、オーストラリアのオークリーサウス小学校(メルボルン)から東小学校に留学中の9人の児童が市役所を訪問しました。両校は、平成26年から交流を続けています。留学生たちは、雪の残る景色に「初めて雪が降る光景を見て感動した。地域の方々みんなで温かく迎えてもらえて嬉しい。」と話してくれました。



可愛いとお気に入りのちーたんも児童と一緒に記念撮影

15周年記念 和太鼓フェスタ開催!

1月22日、ライフピアいちじまで第15打!和太鼓フェスタ「響刻」が開催されました。15周年記念のフェスタに市内外から6チームが参加。真剣勝負の緊張感漂う演奏が披露されました。お客さんが太鼓を叩いてから入場する「一打入場!」や3尺大太鼓のスペシャルステージも開催。ホールに迫力のある大太鼓の音が響きました。



迫力ある音をホールに響かせる和太鼓演奏

あなたの声が直接届く まごころ市長室 初開催

1月30日、市役所応接室で市民の方から市長が直接意見を受け取る、まごころ市長室を開催しました。市長との意見交換を終えた後藤まみさんは「緊張したが、きちんと伝えられたと思う。問題について、真剣に考えてもらえて良かった」とほっとした表情で答えてくれました。



ゆっくりと丁寧に意見を伝える後藤まみさん

市で活躍する人から学ぶ NEC若手職員が研修を実施

1月26日から27日の2日間、日本電気(株)関西支社(NEC)の若手社員15人が研修を行いました。市で活躍する人と交流し、キャリアや地域貢献について学ぶものです。地域おこし協力隊の中川ミミさんは、前職も含めた自身の働き方を紹介。参加者は、これまでの仕事を見つめ直し、働き方を真剣に考えました。



地域おこし協力隊になったきっかけを話す中川ミミさん

青垣小学校の新たな門出に 校旗・校歌の額を寄贈

2月1日・7日、青垣小学校に中兵庫信用金庫から校旗、丹波ひかみ農業協同組合から校歌の額が寄贈されました。4月から開校する青垣小学校のシンボルが地元企業から贈られました。中兵庫信用金庫の足立厚郎理事長は「地元があつての企業。地元でできることは精一杯したいという職員の総意が形になって良かった」と、丹波ひかみ農業協同組合の荻野友喜代表理事組合長は「青垣小学校の開校に協力できる素晴らしい機会を頂いた。新しい校歌とともに学校の発展を祈っている」と話しました。



足立厚郎理事長(写真右)から校旗を受け取る小田教育長

校旗、校歌の額を受け取った小田教育長は「立派なものをいただき大変感謝している。保護者や地域のみなさんに統合してよかったといわれる学校を目指す」と誓いました。青垣地域市立小学校統合準備委員会の足立仁委員長は「地域の誇りになるような寄贈品に感激している。子どもたちが新たなシンボルの下で心をひとつに学べるように準備を整えたい」と感謝を伝えました。



体育館と玄関に飾られる校歌の額を贈る荻野友喜代表理事組合長(写真右)と小田教育長

バレーボール教室を開催 NECロケットの元日本代表選手らが熱血コーチ!

1月28日、NECのバレーボールチームNECロケットの元日本代表選手らが市内愛好家向けバレーボール教室の講師を務めました。市内の小学生バレーボールチームに所属する小学1年生から6年生まで約100人が参加し、指導を受けました。参加した子どもたちは「普段しないような練習の仕方に驚いた。コツを具体的に教えてもらえて、うまくなった」と確かな手ごたえを感じていました。前日には、バレーボール教室の講師を務めた、竹内実さん・白垣里紗さん・八幡美樹さんの3人が市長を訪問。3人は「100人を超える小学生が参加すると聞きとても嬉しい」と教室を楽しみにしていました。谷口市長は、「若手研修も含めてこうした交流が増えていくのはとても嬉しい。今後も続けていけるようにしたい」と伝えました。



実演を交えた講師の指導を真剣に聞く子どもたち



谷口市長にサインボールを贈る講師たち